



# フィデリティ・退職設計・ファンド (隔月決算型)

愛称：安心のチカラ

販売用資料

2008年12月(月次改訂)

## ファンドの特色

「安心感」を重視した、退職資金のためのファンドです。  
 分配金はおさえ、再投資をより重視するファンドです。  
 世界中のフィデリティのファンドへ分散投資するファンドです。

## ファンドの運用方針

主として、フィデリティ・日本株式・マザーファンド、フィデリティ・海外株式・マザーファンド、フィデリティ・国内債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンド、フィデリティ・円キャッシュ・リザーブ・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、国内株式、海外株式、国内債券、海外債券、国内外の不動産投資信託(REIT)、国内短期債券・短期金融商品へ実質的に分散投資を行ない、投資信託財産の長期的な成長を目指します。

運用は、主として、マザーファンドの各受益証券への投資を通じて実質的に行ないます。

各マザーファンドへの基本配分は、主として各資産クラスのリスク・リターン特性、資産クラス間の相関、将来における市場環境の変化の可能性に対する最適化等を考慮して決定します。各マザーファンドへの配分は原則として基本配分に対して概ね、中立を維持します。戦術的な資産配分の調整は原則として行ないません。(ただし、将来的に、運用環境の変化により、基本配分比率を調整することや、異なる資産クラスを追加する可能性があります。)

株式運用では、主として、国内外の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資を行ないます。

海外債券運用では、先進国投資適格債券の他、米ドル建てハイ・イールド債券、ユーロ建てハイ・イールド債券、エマージング債券にも投資を行ないます。

国内債券運用では、主として、日本の公社債(国債・地方債、政府保証債、利付金融債、事業債等)に投資を行ないます。(ただし、海外政府、海外企業が発行する円建て債券にも投資を行なうことができます。)

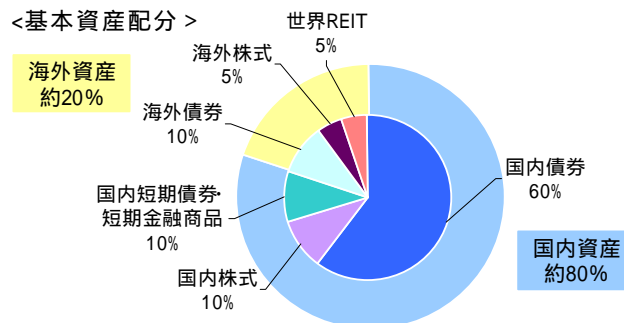
国内短期債券・短期金融商品運用では、主として、信用度が高く、残存期間の短い円建て公社債等に投資を行ないます。

国内外の不動産投資信託(REIT)運用では、国別比率の検討において、国ごとの配当利回りの水準を考慮して運用を行ないます。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。(ただし、フィデリティ・国内債券・マザーファンドおよび、フィデリティ・円キャッシュ・リザーブ・マザーファンドにおいて、外貨建資産を組入れる場合には原則として為替ヘッジを行ないます。)

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

### <基本資産配分>



商品概要	
投資対象	国内外の投資信託証券
設定日	2007年3月1日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年1月10日、3月10日、5月10日、7月10日、9月10日、11月10日(同日が休日の場合は翌営業日)
ベンチマーク	組入れる各資産クラスの市場指標を合成した複合ベンチマーク(円ベース)

### 累積リターン\*

(2008年11月28日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.69%	-13.09%	-13.92%	-16.13%	-	-16.84%
ベンチマーク	-1.65%	-10.70%	-10.91%	-12.61%	-	-13.87%

\* 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

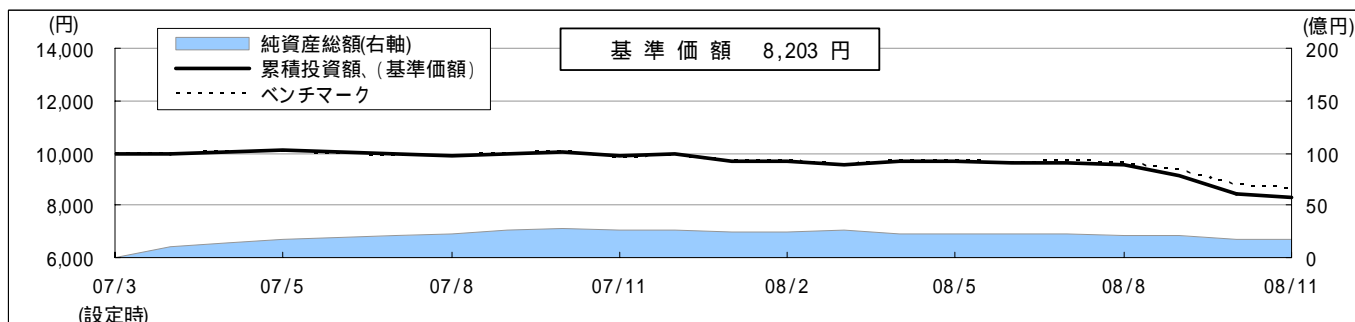
### 過去5期分の収益分配金(税込み)

第6期(2008.03.10)	15円
第7期(2008.05.12)	15円
第8期(2008.07.10)	15円
第9期(2008.09.10)	15円
第10期(2008.11.10)	15円

分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

純資産総額 17.1 億円 (2008年11月28日現在)

### 設定来の運用実績 (2008年11月28日現在)



累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、申込手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。基準価額は信託報酬控除後のものです。

組入れる各資産クラスの市場指標を合成した複合ベンチマーク(円ベース)の詳細につきましては巻末をご参照ください。

当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



フィデリティ・退職設計・ファンド（隔月決算型）

愛称：安心のチカラ

販売用資料

## コメント

(2008年11月28日現在)

### 〔国内株式〕

TOPIX（配当金込）は 3.72%。引き続き実体経済の悪化と景気対策との狭間で揺れ動く展開。

### 〔海外株式〕

海外株式相場は、MSCIコクサイ・インデックスの月間騰落率（円ベース）で 9.71%。

【米国株】米国株式相場は、S&P500 7.48%、ダウ工業株30種平均 5.32%、ナスダック指数 10.77%。月初、雇用統計など景気指標が前月に続き悪化したことや、大手自動車会社の資金繰り悪化の報道などから、相場は下落基調。その後個別企業の業績悪化などから、投資家心理はさらに悪化。終盤、オバマ次期大統領の新経済運営チームへの期待感の高まりなどから相場は反発して終了。

【欧州株】MSCIヨーロッパ・インデックスは 4.67%。ECB（欧州中央銀行）が0.5%の利下げを行い、BOE（英国中銀）が1.5%の予想外の大幅利下げを行なったにも関わらず、企業業績の悪化懸念は根強く、相場は下落基調。

### 〔国内債券〕

国内債券相場は、Nomura BPI総合指数で +0.30%。10年国債利回りは1.50%から1.40%へ低下。

### 〔海外債券〕

海外債券市場はシティグループ世界国債・インデックス（除く日本）で +0.73%（円ベース）。

【グローバル投資適格債】米国は大幅上昇。月初に発表された米雇用統計が前月比 24万人の大幅減となったことや、米国政府による米大手金融機関に対する再度の救済策が示されたことなどを背景に、長期金利が大幅に低下しました。11月末の米10年国債利回りは2.96%と、前月末比1.01%低下。他の地域も、景気減速懸念と各国の協調した金融緩和政策や金融機関への公的資金注入決定の中で利回りは大きく低下。ユーロ建10年国債利回りは前月末の3.89%から3.26%へ、英国10年国債利回りは4.53%から3.78%へ、カナダの10年国債利回りは3.77%から3.32%へ。

【ハイ・イールド債券】米国、欧州ともに下落。メリルリンチ・USハイ・イールド・マスター・コンストレインド・インデックスで 8.02%。欧州は、メリルリンチ・グローバル・ハイ・イールド・ヨーロッパ・イシューズ・コンストレインド・インデックス（ユーロヘッジ・ベース）で 4.06%。

【エマージング債券】上昇。J.P.モルガン・EMBIグローバルの月間リターンは +2.48%。時価総額上位国のリターンは、ブラジル +4.03%、メキシコ +0.45%、ロシア 3.91%。（いずれも米ドル・ベース。）

### 〔世界リート〕

世界リート市場は、UBSグローバル・リアル・エースタート・インベスターズ・インデックスで 19.03%（円ベース）。米国REIT相場は、景気の減速を示した経済指標や、大手自動車会社の資金繰り悪化の報道などから、下落基調にて推移。下旬にはオバマ次期大統領の景気対策に対する期待などから、反発して終了。主に米国、イギリス等のREIT相場が下落。

### 〔国内短期債券・短期金融商品〕

国内短期金融市場の月間リターンは、シティグループ・世界マネー・マーケット・インデックス1ヵ月ユーロ預金インデックス（円セクター）で +0.09%。

### 〔為替〕

当月のドル/円相場は、約2.99%の円高（1ドル = 98.40円 95.54円）。ユーロ/円相場は、約2.17%の円高（1ユーロ = 125.89 123.22円）。

文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替レートは、三菱東京UFJ銀行発表値を使用。上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。



# フィデリティ・退職設計・ファンド (隔月決算型)

愛称：安心のチカラ

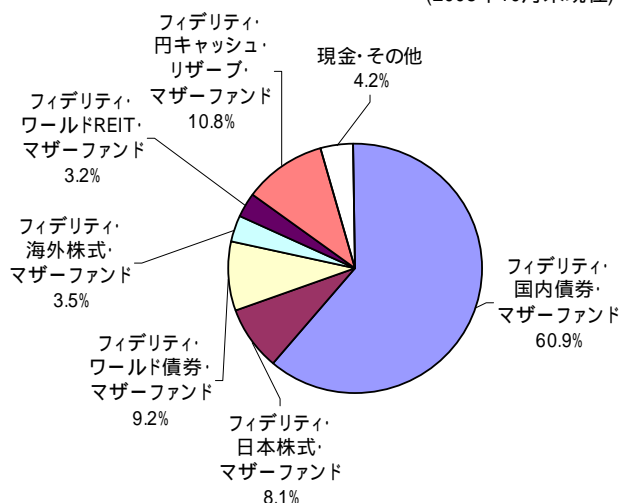
【ご参考】マザーファンドについての情報を含みます

販売用資料

## フィデリティ・退職設計・ファンド (隔月決算型)

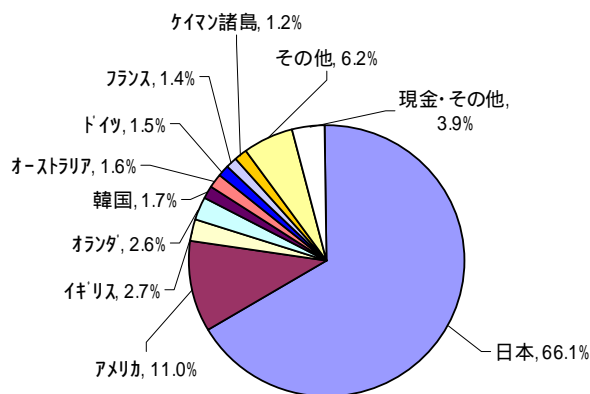
< マザーファンドの組入れ状況 >

(2008年10月末現在)



< 国別配分 >

(2008年9月末現在)

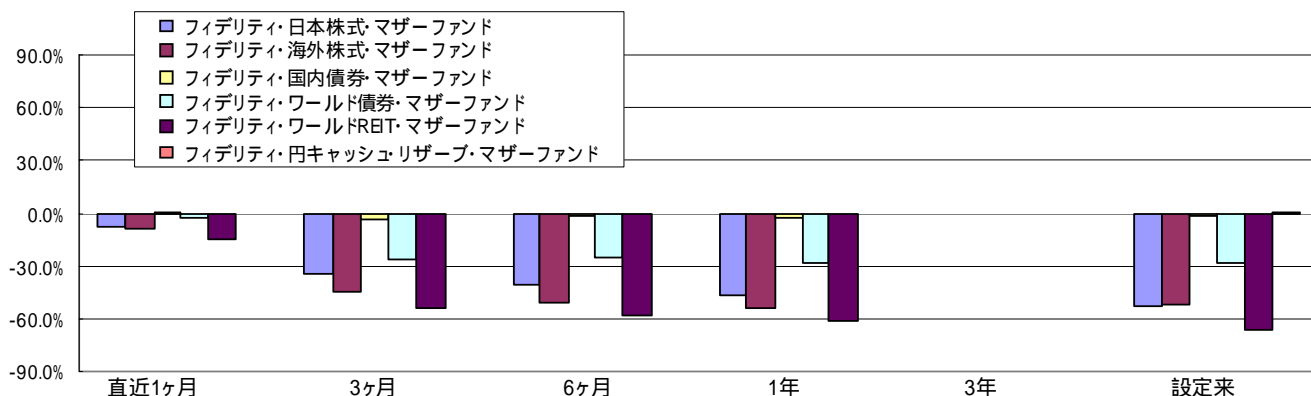


国別配分は発行体の国籍ベースです。

上記のマザーファンドの組入れ状況は、フィデリティ・退職設計・ファンド(隔月決算型)を100とした場合の各マザーファンドの純資産総額比率です。上記の国別配分は、各マザーファンドの国別配分を合算したものです。その内、フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンドについては、組入れているREITファンドの登録国に基づき国別分類したものです。

## マザーファンドの設定来運用実績(収益率)

(2008年11月28日現在)



設定来は、フィデリティ・退職設計・ファンド設定日前日を対象日として計算しています。過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
フィデリティ・日本株式・マザーファンド	-7.81%	-33.96%	-41.10%	-47.09%	-	-52.60%
フィデリティ・海外株式・マザーファンド	-8.51%	-44.82%	-50.50%	-53.71%	-	-51.82%
フィデリティ・国内債券・マザーファンド	0.61%	-3.03%	-1.18%	-2.46%	-	-1.31%
フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	-1.92%	-25.94%	-25.33%	-27.51%	-	-28.16%
フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンド	-15.34%	-54.49%	-58.27%	-61.03%	-	-66.08%
フィデリティ・円キャッシュ・リザーブ・マザーファンド	0.02%	0.14%	0.25%	0.46%	-	0.79%

設定来は、フィデリティ・退職設計・ファンド設定日前日を対象日として計算しています。過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



# フィデリティ・退職設計・ファンド (隔月決算型)

愛称：安心のチカラ

【ご参考】マザーファンドについての情報です

販売用資料

## フィデリティ・日本株式・マザーファンド

< 組入投資信託の組入比率 >

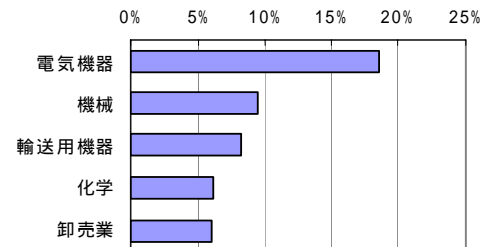
(2008年10月末現在)

ファンド名称	組入比率
フィデリティ・日本成長株・ファンド(適格機関投資家専用)	99.4%
フィデリティ・マネー・プール(適格機関投資家専用)	0.6%

組入投資信託の組入比率、組入上位5業種は、フィデリティ・日本株式・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。

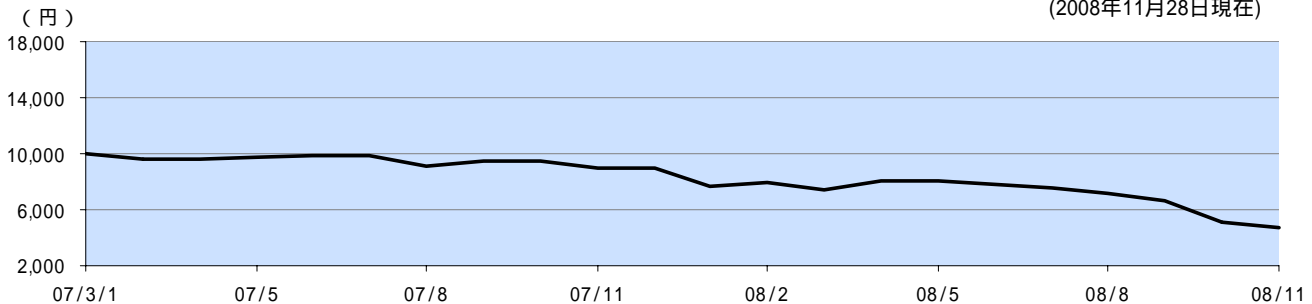
< 組入上位5業種 >

(2008年10月末現在)



< 基準価額の推移 >

(2008年11月28日現在)



基準価額はフィデリティ・退職設計・ファンド設定日前日を10,000円として計算しています。  
過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

## フィデリティ・海外株式・マザーファンド

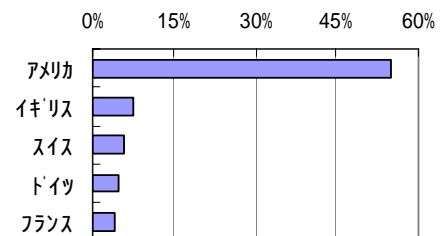
< 組入投資信託の組入比率 >

(2008年10月末現在)

ファンド名称	組入比率
フィデリティ・米国優良株・ファンド(適格機関投資家専用)	45.8%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・ラージャー・カンパニー・ファンド	14.3%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・グロース・ファンド	8.9%
フィデリティ・ファンズ - アメリカ・ファンド	6.0%
フィデリティ・ファンズ - アメリカン・グロース・ファンド	6.0%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・アグレッシブ・ファンド	5.5%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・スモール・カンパニー・ファンド	3.2%
フィデリティ・ファンズ - オーストラリア・ファンド	3.1%
フィデリティ・ファンズ - サウス・イースト・アジア・ファンド	1.1%
フィデリティ・ファンズ - アジアン・スペシャル・シチュエーション・ファンド	0.7%

< 組入上位5ヶ国 >

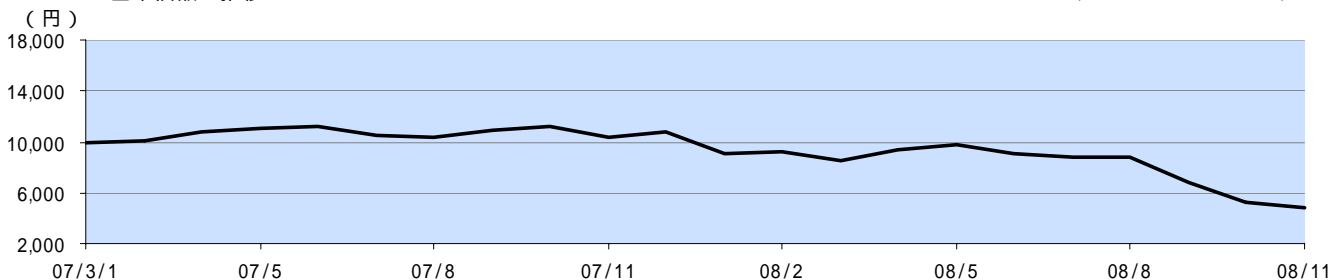
(2008年9月末現在)



国別配分は発行体の国籍ベースです。  
組入投資信託の組入比率、組入上位5ヶ国は、フィデリティ・海外株式・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。

< 基準価額の推移 >

(2008年11月28日現在)



基準価額はフィデリティ・退職設計・ファンド設定日前日を10,000円として計算しています。  
過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



# フィデリティ・退職設計・ファンド (隔月決算型)

## 愛称：安心のチカラ

【ご参考】マザーファンドについての情報です

販売用資料

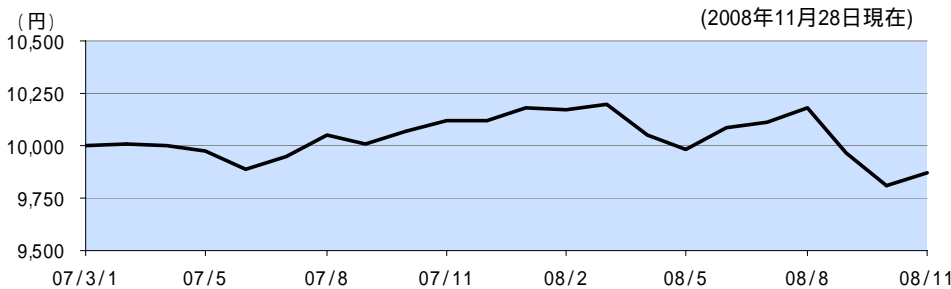
### フィデリティ・国内債券・マザーファンド

<組入投資信託の組入比率> (2008年10月末現在)

ファンド名称	組入比率
フィデリティ・日本債券・ファンド(適格機関投資家専用)	87.9%
フィデリティ・日本債券・ファンドII(適格機関投資家専用)	11.4%
フィデリティ・マネー・ボール(適格機関投資家専用)	0.7%

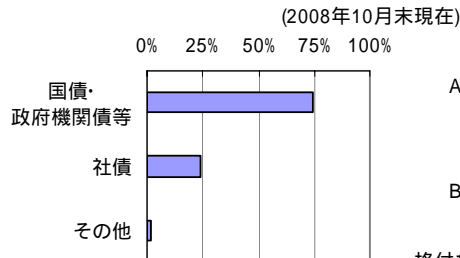
組入投資信託の組入比率は、フィデリティ・国内債券・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。

<基準価額の推移>

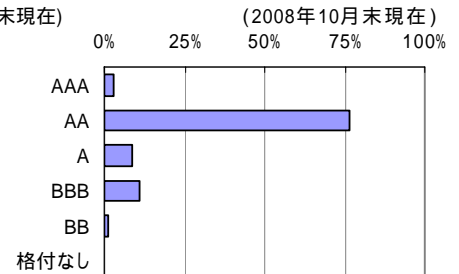


基準価額はフィデリティ・退職設計・ファンド設定日前日を10,000円として計算しています。過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

<組入債券種別配分>



<組入債券格付別配分>



組入債券格付別配分、組入債券種別配分については、フィデリティ・国内債券・マザーファンドを100とした場合の投資債券比率です。格付については、S&P社またはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社を優先して採用しています。('プラス/マイナス'の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

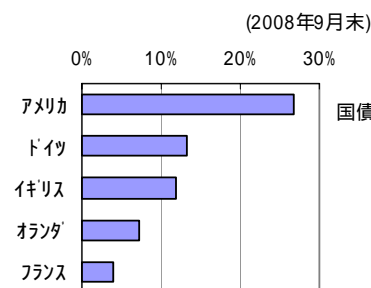
### フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

<組入投資信託の組入比率> (2008年10月末現在)

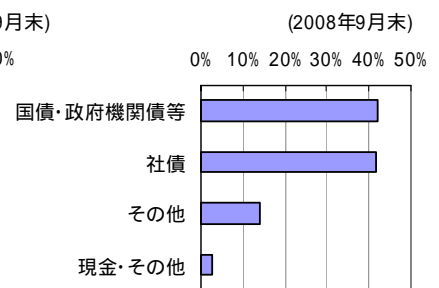
ファンド名称	組入比率
フィデリティ・米国投資適格債・ファンド(適格機関投資家専用)	38.4%
フィデリティ・ファンズ・ユーロ・ボンド・ファンド	36.3%
フィデリティ・ファンズ・エマージング・マーケット・デット・ファンド	9.2%
フィデリティ・スターリング・ボンド・ファンド	7.9%
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)	4.9%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド	4.0%

(ワールド債券・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。)

<組入上位5ヶ国> (発行体の国籍ベース)

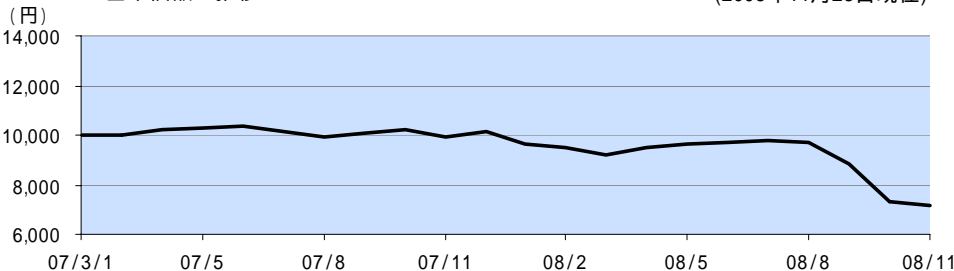


<組入債券種別配分>



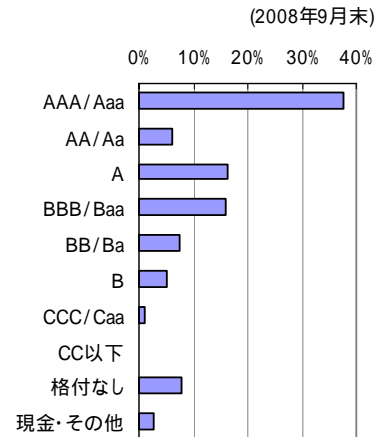
組入上位5ヶ国、組入債券格付別配分、組入債券種別配分については、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンドを100とした場合の投資債券比率です。格付については、S&P社またはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社を優先して採用しています。('プラス/マイナス'の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

<基準価額の推移>



基準価額はフィデリティ・退職設計・ファンド設定日前日を10,000円として計算しています。過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

<組入債券格付別配分>



フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



# フィデリティ・退職設計・ファンド (隔月決算型)

愛称：安心のチカラ

【ご参考】マザーファンドについての情報です

販売用資料

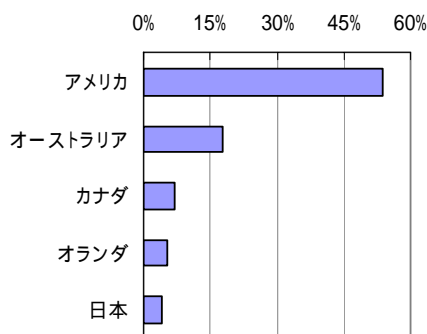
## フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンド

<組入上位10銘柄> (2008年9月末現在)

	REIT名称	組入比率
1	SIMON PROPERTY GROUP INC	7.9%
2	WESTFIELD GROUP STAPLED UNIT	5.9%
3	APARTMENT INV & MGMT CO A	3.9%
4	INLAND REAL ESTATE CORP	3.8%
5	UDR INC	3.6%
6	EUROCOMMERCIAL PROP NV CVA	3.5%
7	PROLOGIS	3.4%
8	CFS RETAIL PROPERTY TRUST	3.4%
9	DEVELOPERS DIVERSIFIED REALTY CORP	2.8%
10	DEXUS PROPERTY GRP	2.7%

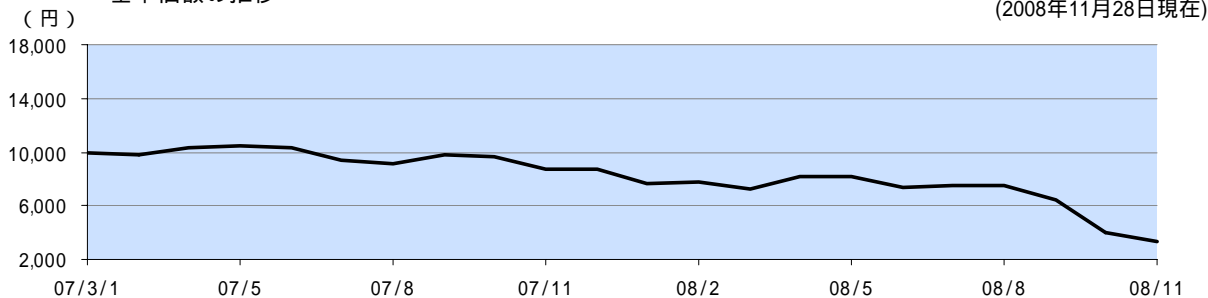
(組入銘柄数：49) 上位10銘柄合計 40.9%

<組入上位5ヶ国> (2008年10月末現在)



組入上位5ヶ国、組入上位10銘柄は、フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。  
組入上位5ヶ国は、各REITファンドの登録国に基づき分類したものです。

<基準価額の推移>



基準価額はフィデリティ・退職設計・ファンド設定日前日を10,000円として計算しています。  
過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

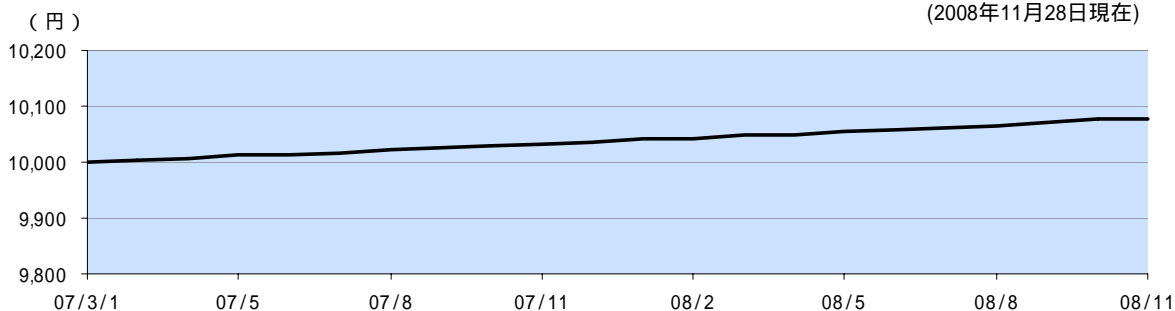
## フィデリティ・円キャッシュ・リザーブ・マザーファンド

<組入投資信託の組入比率> (2008年10月末現在)

ファンド名称	組入比率
フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)	99.5%
フィデリティ・マネー・プール(適格機関投資家専用)	0.5%

組入投資信託の組入比率は、フィデリティ・円キャッシュ・リザーブ・マザーファンドを100とした場合の純資産総額比率です。

<基準価額の推移>



基準価額はフィデリティ・退職設計・ファンド設定日前日を10,000円として計算しています。  
過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



# フィデリティ・退職設計・ファンド (隔月決算型)

愛称：安心のチカラ

【ご参考】マザーファンドについての情報です

販売用資料

## 組入投資信託の概要

(2008年11月末現在)

<フィデリティ・日本株式・マザーファンド>	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・日本成長株・ファンド(適格機関投資家専用) (国内証券投資信託)				
フィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目標に、積極的な運用を行なうことを基本とします。	-1.9%	-34.5%	-41.1%	-47.0%
フィデリティ・マネー・プール(適格機関投資家専用) (国内証券投資信託)				
フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として本邦通貨表示の公社債等(国債、地方債、政府保証債、利付金融債、事業債、短期金融商品等)に投資を行ない、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。	0.0%	0.1%	0.2%	0.4%

<フィデリティ・海外株式・マザーファンド>	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・米国優良株・ファンド(適格機関投資家専用) (国内証券投資信託)				
フィデリティ・米国優良株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式に投資を行ない、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。	-8.9%	-41.8%	-46.7%	-
フィデリティ・ファンズ - アメリカ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
米国の株式を主要な投資対象とします。主として米国の株式に投資を行ないます。	-10.3%	-41.0%	-45.3%	-50.8%
フィデリティ・ファンズ - アメリカン・グロース・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
本店所在地が米国にあるか、あるいは主たる業務活動が米国にある企業の株式を主要な投資対象とします。主として、本店所在地が米国にあるか、あるいは主たる業務活動が米国にある企業の株式に投資を行ない、集中度の高いポートフォリオ運用を通じて長期的な元本の成長を目指します。	-10.2%	-41.9%	-45.8%	-51.9%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・アグレッシブ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
欧州の企業の株式を主要な投資対象とします。主として欧州の企業の株式に投資を行ないます。ファンドは企業規模や業種に捉われない投資を行ないます。典型的には、ファンドは限られた数の企業に集中投資を行なうため、相対的にポートフォリオ分散が低くなる可能性があります。	-11.1%	-65.5%	-73.7%	-73.5%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・グロース・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
欧州の取引所に上場されている企業の株式を主要な投資対象とします。主として欧州の取引所に上場されている企業の株式に投資を行ないます。	-10.6%	-46.3%	-53.6%	-57.7%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・ラージャー・カンパニー・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
欧州の取引所に上場されている企業の株式の中で時価総額が大型の株式を主要な投資対象とします。主として欧州の取引所に上場されている企業の株式の中で時価総額が大型の株式に投資を行なうことにより、長期的な元本の成長を目指します。	-11.2%	-41.6%	-47.3%	-53.5%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・スモール・カンパニー・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
時価総額が中小型の欧州の株式を主要な投資対象とします。主として時価総額が中小型の欧州の株式に投資を行ないます。	-11.9%	-55.1%	-61.7%	-65.5%
フィデリティ・ファンズ - アジアン・スペシャル・シチュエーション・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
日本を除くアジアの株式の中で、主として「スペシャル・シチュエーション株式」や小型成長株に投資します。「スペシャル・シチュエーション株式」は、一般的に、純資産に比べて割安な株価を有する、あるいは利益成長性が高くかつ株価上昇に有利な特別な状況を持っています。また、ファンドはポートフォリオの25%までを、上記以外の株式にも投資を行なうことができます。	-6.5%	-42.3%	-52.0%	-59.3%
フィデリティ・ファンズ - サウス・イースト・アジア・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
日本を除く環太平洋諸国の取引所に上場されている企業の株式を主要な投資対象とします。主として日本を除く環太平洋諸国の取引所に上場している企業の株式に投資を行ないます。	-7.6%	-43.5%	-53.6%	-63.3%
フィデリティ・ファンズ - オーストラリア・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
オーストラリアの企業の株式を主要な投資対象とします。主としてオーストラリアの企業の株式に投資を行ないます。	-14.2%	-53.6%	-58.9%	-64.2%

過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。あくまでも参考として情報提供をすることを目的としており、上記個別ファンド売買を推奨するものではありません。また日本での販売を行っていないファンドも含まれます。作成時点で取得可能なデータに基づき作成しております。



# フィデリティ・退職設計・ファンド (隔月決算型)

愛称：安心のチカラ

【ご参考】マザーファンドについての情報です

販売用資料

## 組入投資信託の概要

(2008年11月末現在)

<フィデリティ・国内債券・マザーファンド>	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・日本債券・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)				
フィデリティ・日本債券・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の公社債(国債・地方債・政府保証債・利付金融債・事業債等)を主要投資対象とし、利息等収入の確保を図るとともに、値上がり益の追及を目指し、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。	0.4%	-3.2%	-1.4%	-2.6%
フィデリティ・日本債券・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)				
フィデリティ・日本債券・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の公社債(国債・地方債・政府保証債・利付金融債・事業債等)を主要投資対象とし、利息等収入の確保を図るとともに、値上がり益の追及を目指し、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。	0.4%	-3.2%	-1.4%	-2.6%
フィデリティ・マネー・プール(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)				
<フィデリティ・日本株式・マザーファンド>の欄をご参照ください。				

<フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド>	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・米国投資適格債・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)				
フィデリティ・米国投資適格債・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の米ドル建て投資適格債券(国債、政府機関債、モーゲージ担保証券、資産担保証券、社債等のうち、いわゆる投資適格債券としての格付を有するものをいいます。)に投資することにより、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行ないます。	0.3%	-17.5%	-13.6%	-16.9%
フィデリティ・スターリング・ボンド・ファンド(英国籍証券投資法人)				
主に英ポンド建ての(または英ポンドに為替ヘッジされた)公社債を主要な投資対象として、魅力的な水準の利息収入の確保を主たる目的とし、元本成長の可能性も目指します。	-5.7%	-30.7%	-33.6%	-40.1%
フィデリティ・ファンズ - ユーロ・ボンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
ユーロ建ての公社債を主要な投資対象とします。主としてユーロ建ての公社債に投資を行ないます。	-1.8%	-27.8%	-29.4%	-30.7%
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)				
フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米ドル建ての高利回り社債(ハイ・イールド債券)を主要な投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行なうことを基本とします。	-10.9%	-35.7%	-34.9%	-35.7%
フィデリティ・ファンズ - ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
欧州市場で発行された高利回り社債を主要な投資対象とします。本店所在地が西ヨーロッパ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ(ロシアを含む)にあるか、あるいは主たる業務活動がそれらの地域で行われている企業が発行する高利回りの投資非適格証券に主として投資を行ない、高水準の利息収入の確保と元本成長を追求します。投資非適格証券とはS & Pによる格付けでBB+以下、ないし国際的に認められた格付け機関により同等の格付けを与えられた証券をいいます。	-7.3%	-45.0%	-49.4%	-48.7%
フィデリティ・ファンズ - エマージング・マーケット・デット・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)				
エマージング債券を主要な投資対象とします。主としてエマージング債券へ投資を行なうことにより利息収入の確保と元本成長を目指します。ファンドは、ローカル市場の債券、エマージング市場の発行体が発行した株式や社債等にも投資を行なうことができます。投資対象国としてはラテンアメリカ、東南アジア、アフリカ、東欧(ロシアを含みます。)や中東等を含みます。	-2.5%	-34.4%	-33.4%	-35.5%

## <フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンド>

主として日本を含む世界各国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託(REIT)(これに準ずるものを含みます。)に投資を行ない、配当等収入の確保を図るとともに投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行ないます。

<フィデリティ・円キャッシュ・リザーブ・マザーファンド>	収益率			
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)				
フィデリティ・円キャッシュ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として本邦通貨表示の公社債等(国債、地方債、政府保証債、利付金融債、事業債、短期金融商品等)に投資を行ない、利息等収入の確保を図ります。	0.0%	0.1%	0.2%	0.5%
フィデリティ・マネー・プール(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)				
<フィデリティ・日本株式・マザーファンド>の欄をご参照ください。				

過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。あくまでも参考として情報提供をすることを目的としており、上記個別ファンド売買を推奨するものではありません。また日本での販売を行っていないファンドも含まれます。作成時点で取得可能なデータに基づき作成しております。

## 投資方針

- ① 主として、フィデリティ・日本株式・マザーファンド、フィデリティ・海外株式・マザーファンド、フィデリティ・国内債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールドREIT・マザーファンド、フィデリティ・円キャッシュ・リザーブ・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、国内株式、海外株式、国内債券、海外債券、国内外の不動産投資信託 (REIT)、国内短期債券・短期金融商品へ実質的に分散投資を行ない、投資信託財産の長期的な成長を目指します。
- ② 運用は、主として、マザーファンドの各受益証券への投資を通じて実質的に行ないます。
- ③ 各マザーファンドへの基本配分は、主として各資産クラスのリスク・リターン特性、資産クラス間の相関、将来における市場環境の変化の可能性に対する最適化等を考慮して決定します。各マザーファンドへの配分は原則として基本配分に対して概ね、中立を維持します。戦術的な資産配分の調整は原則として行ないません。(ただし、将来的に、運用環境の変化により、基本配分比率を調整することや、異なる資産クラスを追加する可能性があります。)
- ④ 株式運用では、主として、国内外の取引所に上場これに準ずるものを含みます。上場している株式に投資を行ないます。
- ⑤ 海外債券運用では、先進国投資適格債券の他、米ドル建てハイ・イールド債券、ユーロ建てハイ・イールド債券、エマージング債券にも投資を行ないます。
- ⑥ 国内債券運用では、主として、日本の公社債 (国債・地方債、政府保証債、利付金融債、事業債等) に投資を行ないます。(ただし、海外政府、海外企業が発行する円建て債券にも投資を行なうことができます。)
- ⑦ 国内短期債券・短期金融商品運用では、主として、信用度が高く、残存期間の短い円建て公社債等に投資を行ないます。
- ⑧ 国内外の不動産投資信託 (REIT) 運用では、国別比率の検討において、国ごとの配当利回りの水準を考慮して運用を行ないます。
- ⑨ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。(ただし、フィデリティ・国内債券・マザーファンドおよび、フィデリティ・円キャッシュ・リザーブ・マザーファンドにおいて、外貨建資産を組入れる場合には原則として為替ヘッジを行ないます。)

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

## ファンドの主なリスク内容について

投資信託はリスク商品であり、投資成果は保証されておらず、投資元本を下回ることがあります。

また収益や投資利回り等も未確定の商品です。

下記はファンドのリスクの一部をご説明したものです。

詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) の「投資リスク」をご参照ください。

### 損失の可能性

ファンドがマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドは、主として国内外の債券、株式および不動産投資信託 (以下「REIT」といいます。を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。ファンドおよびマザーファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、原則として為替ヘッジを行ないませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動により基準価額は変動します。さらに、投資対象ファンドが組入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、組入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の価格の下落あるいは組入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の発行会社の倒産ならびに財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。委託会社の指図に基づく行為によりファンドに生じた損益は全て受益者に帰属し、元本が保証されているものではありません。

### 有価証券 (株式・債券・REIT等) の価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。

### 為替リスク

日本以外の外国の有価証券等に投資を行なう場合は、為替リスクが発生し、各国通貨の円に対する為替レートにより、ファンドおよびマザーファンドの基準価額が変動します。なお、ファンドは原則として外貨建資産について為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。

### カントリー・リスク

海外の金融・証券市場に投資を行なう場合は、当該国・地域の政治、経済および社会情勢の変化により、金融・証券市場が混乱した場合に、基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。また、投資対象先がエマージング・マーケット (新興諸国市場) の場合には、特有のリスク (政治・社会的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等) が想定されます。

### 解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動のリスク

解約資金を手当するため、投資対象ファンドにおいて保有証券を売却いたします。その際には、取引執行コストがかかり、ファンドおよびマザーファンドの基準価額の下落要因となります。また、売却の際の市況動向や取引量等の状況によっては基準価額が大きく変動する可能性があります。また、保有証券の売却代金回収までの期間、一時的にファンドで資金借入を行なうことによりファンドの解約代金の支払に対応する場合、借入金利はファンドが負担することになります。

### 信用リスク

有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。また、債券等へ投資を行なう場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

### ベンチマークとの乖離に関するリスク

ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを上回る場合もあれば下回る場合もあります。ファンドは、長期的にベンチマークを上回る投資成果の実現を目指しますが、ベンチマークを上回ることを保証するものではありません。また、投資対象国または地域の市場の構造変化等によっては、ファンドのベンチマークを見直す場合があります。

### 金利リスク

投資対象ファンドの債券投資部分においては、金利の変動を受けて債券価格も変動します。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、金利が低下した場合には債券価格は上昇します。金利が上昇した場合、債券価格の下落に伴い、ファンドおよびマザーファンドの基準価額も下落することがあります。

投資対象ファンドにおいて投資を行なうREITは、取引所等で株式と同様に取引されますので、収益の分配状況によっては、金利の上昇局面において、他のより利回りの高い債券などの比較で売却され、価格が下落することがあります。また、REITが資金調達を行なった場合、借入金の残高や借入期間によっては、金利上昇によって増大した借入コストが保有不動産から得られる収入を上回ることとなり、REITの財務内容が悪化して、REITの価格や配当率の下落に繋がる可能性があります。金利の上昇は、REITの本源的価値を決定する要因である保有不動産の評価額にもマイナスの影響を与え、REITの価格の下落に繋がる可能性があります。一方で、金利上昇は不動産開発に係る資金調達のコストを引き上げ、新たな不動産の供給を抑えることから、この面で、既存のREITにとっては競争抑制要因としてプラスに働くこともあります。

### 期限前償還リスク

投資対象ファンドの債券投資部分において、組入れた債券が期限前に償還された場合、償還された元本を別の債券等に再投資することになりますが、金利が低下している局面等では、再投資した債券の利回りが償還された債券の利回りより低くなる可能性があります。

### ハイ・イールド債券への投資に伴うリスク

投資対象ファンドの債券投資部分において投資を行なうハイ・イールド債券は、上位に格付けされた債券に比べて、企業の経営不振・倒産や、国家の政情・財政不安などにより、債務者が債権者に対して契約に定められた元利金支払を履行できない状態になる（以下「デフォルト」といいます。）リスクが高い傾向にあります。デフォルトが生じた場合あるいはデフォルトが予想される場合、ハイ・イールド債券の価格は大きく下落します。

また、ハイ・イールド債券は、金利の変化につれて価格が変動する債券としての性格を持つとともに、株式に類似した特質を併せ有しています。このため、個々の企業の業績、財務内容の変化や全般的な景気動向の影響を強く受け、債券価格は格付けの引き上げ、引き下げなどによって上下に大きく変動します。

### ボトム・アップ・アプローチに関するリスク

投資対象ファンドの株式投資部分は、ボトム・アップ・アプローチで組入銘柄を決定します。国別配分、通貨配分および業種配分その他のリスク管理も行ないませんが、結果的に、ポートフォリオの国別配分、通貨配分および業種配分や銘柄構成等が投資対象国または地域の株式市場全体とは大きく異なるものとなる場合も想定されます。その場合、ファンドおよびマザーファンドの基準価額の値動きは、投資対象国または地域の株式市場全体の動きと大きく異なる場合も想定されます。

### 不動産市場に関するリスク

投資対象ファンドにおいて投資を行なうREITは、主として様々な種類の不動産を投資対象としており、REITの価格や配当率は、その保有している不動産の価値や収益性と密接に結びついています。例えば、賃貸物件の供給過剰の場合や景気の悪化等により空室率が上昇した場合には、テナント等の確保を目的とした賃料低下を招き、REITの価格や配当率の下落に繋がる可能性があります。さらに、不動産の需給関係は、住宅、コンドミニアム、オフィスビル、ショッピングモール、レジャー施設、病院など、不動産の種類により異なり、REITの価格動向や配当率も異なります。

### 有価証券先物取引等のリスク

投資対象ファンドは、証券価格の変動または証券の価値に影響を及ぼすその他の諸要因に関するファンドのリスクを増加または減少させる運用手法（たとえば有価証券先物取引等）を用いることがあります。このような手法が想定された成果を収めない場合、ファンドはその投資目的を達成できず、損失を生じるおそれがあります。

# フィデリティ・退職設計・ファンド(1年決算型 / 隔月決算型)

追加型株式投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社 フィデリティ投信株式会社

インターネットホームページ : <http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>

フリーコール : 0120-00-8051 受付時間: 営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。

留意点 お申込みおよびご換金の受付については、原則として、毎営業日(ただし、ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークにおける銀行休業日および英国における休業日の場合は除きます。)の午後3時(半日営業日の場合は午前11時)まで受け付けます。詳細は販売会社にお問い合わせください。

その他のファンド概要

設定日 2007年3月1日

信託期間 原則として無期限

ベンチマーク 組入れる各資産クラスの市場指標を合成した複合ベンチマーク(円ベース)

資産クラス	ベンチマーク	構成割合
国内株式	TOPIX(配当金込)	10%
海外株式	MSCI コクサイ インデックス(配当金込、円換算、ヘッジなし)	5%
国内債券	Nomura BPI 総合指数	60%
海外債券	合成複合ベンチマーク <sup>1</sup>	10%
国内外の不動産投資信託(REIT)	UBS グローバル・リアル・エステート・インベスターズ・インデックス(配当金込、円換算)	5%
国内短期債券・短期金融商品	シティグループ・世界マネー・マーケット・インデックス1ヶ月ユーロ預金インデックス(円セクター)	10%

1 合成複合ベンチマークとは、市場指標を以下の割合で合成した複合ベンチマーク(円ベース)です。

対象資産	ベンチマーク	構成割合
ユーロ建て債券	メルリリンチ・EMUラージ・キャピタライゼーション・インベストメント・グレード・インデックス(円換算)	36%
米ドル建て債券	メルリリンチ・USコーポレート&ガバナメント・マスター・ラージ・キャピタライゼーション・インデックス(円換算)	36%
英ポンド建て債券	メルリリンチ・スターリング・ラージ・キャピタライゼーション・インデックス(円換算)	8%
米ドル建てハイ・イールド債券	メルリリンチ・USハイ・イールド・マスターII・コンストレインド・インデックス(円換算)	5%
ユーロ建てハイ・イールド債券	メルリリンチ・グローバル・ハイ・イールド・ヨーロッパ・インデックス・コンストレインド・インデックス・ユーロヘッジ・ベース(円換算) <sup>2</sup>	5%
エマーシング債券	JPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(円換算)	10%

2 当該ベンチマークの構成銘柄における発行体の属性等に鑑み、2008年9月1日付けで、従前の「メルリリンチ・ユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(円換算)」より変更となっております。

収益分配 1年決算型 ..... 毎年11月10日(ただし休業日の場合は翌日以降の最初の営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、必ず分配を行なうものではありません。

隔月決算型 ..... 毎年1、3、5、7、9、11月の各10日(ただし休業日の場合は翌日以降の最初の営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、必ず分配を行なうものではありません。

お申込み価額 お申込み受付日の翌営業日の基準価額

ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の解約価額(=基準価額) ご換金代金の支払開始日は原則として換金請求受付日より6営業日以降になります。

ファンドに係る費用・税金

お申込み手数料 3.15%(税抜き3.00%)を上限として販売会社がそれぞれ定める料率とします。

ご換金手数料 なし

信託報酬 純資産総額に対し年率0.49875%(税抜き0.475%)

このほかに、ファンドが投資する投資信託証券の運用報酬等が別途課されるため、実質的な信託報酬等は、年率0.79%±0.10%(税抜き)程度となる予定です。(投資する投資信託証券の変更等により実質的な信託報酬等は変動することがあります。)

その他の費用 法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等が投資信託財産から差し引かれます。

課税関係 収益分配時の普通分配金ならびにご換金時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。なお、個人の受益者については、2009年1月1日から収益分配時には普通分配金に対して課税され、ご換金時および償還時には譲渡益に対して課税されます。

信託財産留保額 なし

当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社 フィデリティ投信株式会社【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号

【加入協会】社団法人 投資信託協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会

投資信託財産の運用指図などを行ないます。

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社

投資信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。

販売会社

販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス:<http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>)をご参照または、

フリーコール:0120-00-8051(受付時間:営業日の午前9時～午後5時)までお問い合わせいただけます。

ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払などを行ないます。

- ・当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。
- ・投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はおお客様ご自身の責任においてなされますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- ・投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- ・販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- ・投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- ・「フィデリティ・退職設計・ファンド(1年決算型 / 隔月決算型)」がマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドは、主に国内外の債券、株式および不動産投資信託(REIT)を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ・ファンドおよびマザーファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた債券、株式、REITおよびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドが組み入れた債券、株式、REITおよびその

- 他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはおお客様ご自身のご負担となります。
- ・ご購入の際は契約締結前交付書面および投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- ・投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>)をご参照ください。
- ・当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- ・FIL LimitedおよびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」といふことがあります。

フィデリティ・退職設計・ファンド(1年決算型/隔月決算型) 販売会社情報一覧(順不同)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券 投資顧問業協会	(社)金融先物 取引業協会
株式会社秋田銀行*	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号			
岩井証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第3号			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号			
株式会社大分銀行*	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号			
オリックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第55号			
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号			
コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号			
株式会社七十七銀行*	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号			
株式会社東邦銀行*	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号			
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第60号			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号			
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第129号			
日本興亜損害保険株式会社*	登録金融機関	関東財務局長(登金)第140号			
株式会社百五銀行*	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号			
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号			
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号			

\*1年決算型のみのお取り扱いとなります。

\*上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。  
販売会社によってお申し込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。